

# 令和6年度 第2回東御市総合教育会議 会議録

---

## 1 日時

---

令和6年8月26日(月) 午前11時から正午まで

## 2 場所

---

公室

## 3 議題

---

- (1) 部活動地域移行の検討経過について
- (2) 東部地区小学校給食センターの建設検討経過について

## 4 出席者

---

○市長 花岡利夫

○教育長 山口千春

### ○教育委員

教育長職務代理者 小林経明

委員 五十嵐英美

委員 小林利佳

委員 富岡志津子

### ○その他

深井教育次長、土屋教育課長、春原保育課長

高野学校教育係長、小宮山学校施設係長

塚田学校教育係主事

## 会議録

---

深井教育次長

ただ今から令和6年度第2回東御市総合教育会議を開催します。  
はじめに市長、教育長からごあいさつをお願いします。

花岡市長

皆様大変お世話になっております。

9月議会が間もなく開催となります。一般質問の通告が出そろいまして、議長を除くと14人の質問がありました。手続きに関する内容で議員から、その他食育に関するもの一般質問がありましたが、給食センターに関する質問はありませんでした。今ある最善の方法であるということで、どの程度反対者のところに耳を傾けていくのが重要であると思っています。説明を頑張っているということに関しては、不安に思っている方にどの程度理解してもらえるかがなかなか難しく、納得してもらおうプロセスの中で一生懸命やっていきたいところであります。

また、来年度以降の給食費の実質的な値上げも段階的に上げていくということが間違っているという指摘もありました。法律に則って、材料費は保護者負担にするということになっています。ただ、一部の自治体では無料化も進んでいます。

一定程度の独立性ということで戦後79年やってきていますが、首長は教育の問題に関わらないことで教育が遅れてきたことをそのままにしてきた傾向があるという反省に基づき、首長も、教育長の指名の問題でありますとか、このように教育委員会との意見交換ということが必要だということで、教育のために変えるべきものは変わっていかねばいけないと感じています。肅々と対応しながら、やるべき事業に関しては、進めてまいりたいと考えています。

なお、8月15日の二十歳を祝う会には316名の参加がありましたが、昨年生まれた子どもたちは150人という統計があります。この20年で半分になってしまったのだと改めて実感しました。何とかできることは何とかして、なんとかできないところは、どのくらいの数でも幸せにこの地域での生活ができるよう設計していかねばいけないと改めて感じました。

本日はよろしく申し上げます。

山口教育長

教育委員の皆様におかれましては、先ほどの定例教育委員会に引き続きよろしく申し上げます。

本日の議題は、部活動の地域移行の検討経過についてと、東部地区小学校給食センターの検討経過についてであります。どちらの議題も児童生徒や保護者、教員や地域の方等の関心の高い内容です。今年度、どちらも検討会を立ち上げて様々な方のご意見をいただきながら推進してきています。この後担当からの説明もありますが、様々な角度からご意見をいただき意見交換を行って共通理解を図り、今後の推進や検討会の進め方等に活かしてまいりたいと考えています。

いずれにしても、子どもたちや先生方が安心して園や学校での生活が送れ、保護者の方たちも安心して子どもたちを通わせることができる環境をさらに充実させてまいりたいと考えています。よろしく願いいたします。

深井教育次長

ありがとうございました

それでは、議題に入らせていただきます。議題(1)部活動地域移行の検討経過についてです。事務局の方から、現在どのような状況であるのか、また、どの方向で進めていくのか等検討経過について説明します。

高野学校教育係長

生徒数の減少や教員の働き方改革を背景に、部活動を学校から地域へ移行していきます。国は令和5年度から令和7年度の期間を改革推進期間と定め、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指すという方針が発表されています。それに伴い、県も令和8年度末を目途に休日の部活動の移行を目指すとする方針を発表しています。

市においても、今年度から東御市部活動地域移行検討会を立ちあげ、5月に開催した第1回検討会では国や県の動きや部活動の現状の確認、課題の共有を行いました。先週開催した第2回検討会では、先行自治体の事例共有や今後の方向性についての検討を行いました。検討会には中学校長や部活動指導員のほかにPTA代表や市スポーツ協会、市文化協会等が参加しています。

市としては、部活動の地域移行をスムーズに進め、生徒が将来にわたりスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保と中学校教員の負担軽減を目指します。今年度は、統括コーディネーターの配置とモデルケースの試行実施を行います。統括コーディネーターは、地域移行を円滑に進めていくために行政や学校、保護者、地域クラブ等と連絡調整等を担います。個々の部活動の課題の把握や地域クラブが持続的に運営されるための体制構築等を行います。モデルケースについては、水泳を対象として検討していますが、課題を見出し、他の部活への波及効果を目指していきます。

今後も国や県と並行する形で進めていきます。市の今後の流れとしては、令和7年度に休日の段階的な移行と平日の移行に向けた検討を実施、令和8年度に休日の完全移行と平日の段階的な移行、令和9年度に平日の完全移行を考えています。

なお、今年度を実施する事業の予算につきましては、9月の補正予算での計上を予定しています。また、今年度に限り、県の地域スポーツクラブ活動体制整備事業を活用し、事業費全額の補助がある予定であります。

深井教育次長

モデルケースとして考えている部活動は水泳部です。水泳部に属している生徒の保護者からは、1カ月 3,000 円程度の月謝をもらうこととなります。統括コーディネーターがその月謝を集約し、休

日に来てもらっているコーチ等の賃金や施設の使用料を支払うというような流れになります。

モデルケースとなった水泳に関しては、現在、北御牧の温泉アクティブセンターを使用しており、保護者による送迎も行っていただいています。こうした保護者の方の理解があるという観点から、モデルケースとして行っていくことが可能ではないかと検討しています。ここで得た課題等が他の部活動に波及してくると、どこを会場とするのか、保護者の送迎はどうするのかといった様々な面で洗い出しを行うことができますので、今後の参考になるかと考えています。

部活動によっては、上位を目指して取り組むことを望む生徒と、楽しく活動するというレクリエーションを望む生徒、さらには何にも参加しないという生徒もいます。こういった生徒たちの状況を踏まえて、令和8年度の休日の部活動の完全移行を目指して動いていきたいと考えています。

この内容につきまして、ご意見等ありますでしょうか。

#### 五十嵐教育委員

予算の関係でお聞きます。今年度は県から補助金があるとのことでしたが、この数年間にわたる事業に係る県からの補助を、いつまで見込んでいますでしょうか。

#### 土屋教育課長

県としては、今年度は補助金を出しますが、来年度についてはわかりません。今年度、この補助金を使っている自治体が少なかったこともあり、追加募集時に市が申請をしたという状況です。

#### 深井教育次長

実際に部活の地域移行を行っていった場合に、この受け皿になるという市のスポーツ協会が対応するのが良いかと思われまます。また、現在行っているゆるっとスポーツクラブでは Sany とうみに実施をしてもらい、体力向上という面で協力してもらっていますのでこういった部分の兼ね合いも今後ポイントになってくるのではないかと考えています。

#### 花岡市長

「体育」から「スポーツ」に急激に変わったのと軌を一にしながら、考え方が変わりつつあると感じています。また、全体として体を動かすということに関して、地域全体が楽しむことができ、競技スポーツだけに特化しないという流れが起きています。

部活と地域移行という形を統合しながら、レクリエーション的スポーツを多くの方が楽しむという雰囲気がこの地域移行の流れの中でできれば、いろいろなスポーツを経験することができ、年をとっても体を動かすようなことにつながっていくと思います。ただ、部活動を熱心に行うことを希望する人もおり、それも生きる中で良しとする子どももいますし、社会人を経て再度スポーツに戻る方もいます。いずれにしても、いろいろなスポーツの楽しみ方というものにシフトしていくことも、一生がらみでものを見ていくと大切になってくると思います。そのベクトルの中で、部活動に関しても、考えていくことが良いかと思っています。

#### 深井教育次長

先ほどの市長の話にもありました 20 年間で子どもの数が減少しているということもありましたが、現在北御牧中学校のバスケットボール部は人数が少なく、東部中学校と合同で活動しています。部活動の地域移行はそういった中での流れでもあります。

#### 小林職務代理

「地域移行」という言葉ではなく、部活動の「廃止」であると思います。長野市では令和8年度から廃止としていますし、中体連もなくなります。こういった待たなしという状況です。

今市長がおっしゃった言葉はとても重みがあり、競技を優先する部活はそこまで問題ではありませんが、ゆるっとスポーツクラブのような、いろいろなスポーツを体験できるような部活をどこで担うのかということはとても大事な話であると思います。シーズンごとに違うスポーツを行ったり、市長の話にもありました生涯スポーツとして行ったり等、知恵を絞ってやっていきたいと思っています。

#### 富岡委員

夏休み中に現役の教員の方と会う機会が多かったのですが、その先生からは、中学校時代に良い顧問とであったことで、それに憧れて教員になったという人がとても多かったです。伸び盛りの子どもたちにとってそういった人と過ごせたのは良い時間だったと感じています。そういった人材が活躍するように活動してほしいです。また、「東御モデル」のような新しい方法で人材を活用して行ってほしいです。

#### 小林委員

地域の方の力を借りるということの中には、教職員の方々の力を借りるということも含まれているかと思えます。熱意をもって教えてくださる教員の方がいれば、当然地域の人としてかわりを持っていただければと思います。

また、先ほど小林職務代理がおっしゃったシーズンごとに活動する方法がとても良いと思いました。可能であれば、市でも導入できればと思いました。自分が子どもであれば、いろいろなスポーツを経験したいと思うだろうし、その中から生涯を通して続けていきたいものも出てくるのではないかと思います。

#### 五十嵐委員

人数が少ない部活動はどうしても活気がなくなってしまう。卒業した生徒の中で、社会人になってから再度やりたいという人もいます。そういった人を準指導者というような立場で参加し、指導してもらうというような方法で、大人になっても市内に体を動かす場があるという形づくりを同時に進めていけば、活気ある、人が集まるような事業になっていくかと思えます。

#### 深井教育次長

今の話を含めて、統括コーディネーターが必要になってくるかと思えます。

#### 山口教育長

小山前教育長とやり出したことが頓挫してしまっていた状態から、小林職務代理の力添えもあって動き出し、スポーツ協会とも強い絆ができたと思います。今後さらに進んでいくかと思います。

#### 深井教育次長

今年度後半は補正予算をつけて事業を実施していきます。また、部活動はやらないという宣言もいっどこで出すのがまた重要になってくるかと思います。

続きまして、議題(2)東部地区小学校給食センターの建設検討経過についてです。事務局から現状についてご説明します。

#### 小宮山学校施設係長

まず、これまでの保護者・市民等に対する説明会等開催経過についてです。4月に4小学校PTA 総会において計画内容の説明及び懇談会を開催しました。5月には、4月にご参加いただけなかった保護者の方や関心のある保護者等へ改めて説明会を開催しました。さらに6月には市民の方向けに住民説明会、7月には、将来、給食センターの提供対象となる4保育園の保護者を対象とした計画内容の説明及び懇談会を開催しました。その他、各地区での懇談会、地域づくりの会の総会等、様々な場面でご説明させていただきました。

次に、基本設計等の検討経過についてです。基本設計は、宮本忠長建築設計事務所と実際に調理を担当する栄養教諭や給食調理員と打合せを行って内容を検討しています。栄養教諭、調理主任との打ち合わせ、内部打合せ等 10 回にわたり開催しています。その他3月、7月、8月には先進地の視察を行い、視察した内容について設計に反映させてきています。また、調理主任等が自主的に上田市の丸子給食センターの視察も行い、工夫している部分を参考に、給食センターの設計を検討しています。

7月8日に第1回東部地区小学校給食センター建設検討委員会を開催し、委員全員からのご意見を伺ったうえで、検討委員会の中で東部地区の学校給食については給食センター化すること、建設場所については田中小学校北側周辺とすることを確認しました。このことにつきましては、7月定例教育委員会の中でも、改めてご決定をいただいた内容です。8月6日に第2回建設検討委員会を開催し、基本設計の内容についてご意見をいただくとともに給食センターにおいて、米飯炊飯を実施することの確認をいただきました。これを受けまして、現在の基本設計を概ね 10 月末までに完了し、その後実施設計に進んでいくということ、及び米飯炊飯の実施については、本日開催されました定例教育委員会でも、決定をいただいています。

基本設計の内容について説明します。全体の土地利用計画について、ポイントは、周辺環境に配慮した土地利用計画、メンテナンス性に配慮した建物・外構計画、安全性と機能性を重視した敷地内導線の3つをポイントとしています。周辺環境への配慮として、建物を敷地中央に配置することで、隣地境界との離隔距離を確保し、周辺への騒音、また日影の影響を抑制することとしています。敷地を有効に活用した配置計画として、駐車スペースや付帯設備等、敷地形状に合わせて

考慮しています。他、キュービクルや室外機等は屋上に配置し、メンテナンス性を向上するとともに敷地を有効活用できるように設計しています。また、安全な敷地内動線ということで、明確な歩車分離、食材入庫や配送時の車両が無理なく旋回できるスペースの確保などを考慮した敷地内導線としています。

続いて、全体の平面計画についてです。高い衛生水準を確保した配置計画、また効率的で質の高い施設・設備、食の学びの場との情報発信機能の充実という3つをポイントとして設計を進めています。汚染区域と非汚染区域があり、これらを明確に区分した設計としています。調理の流れが一方方向に進むよう設計を行い、非汚染区域から汚染区域の方に作業動線が戻ることがないような設計をしています。また、アレルギー対応専用調理室を設けまして、除去食・代替食に柔軟に対応できる設計です。また、2階には子どもたち等、来館者の見学スペースということで、実際に調理の様子を見学できる造りをとっています。また、概ね1クラス分が収容可能な会議室を設け、食育や試食等に対応できるようになっています。

最後に、今後の予定についてです。引き続き栄養教諭や調理主任等と検討を行いながら、必要な事項について、設計内容に反映をさせていきまして、建設検討委員会での意見も反映させながら、10月末までに業務を完了していきます。基本設計業務完了後には引き続き実施設計業務に移行し、令和7年度中には建物の詳細な設計、また費用面の積算業務を完了する予定です。このため、可能であれば、9月に開催されます定例議会に追加での補正予算の提出を行うよう現在調整を行っているところであります。なお、新施設の開設時期につきましては、今後建設検討委員会での検討を経て、正式には、教育委員会で決定する事項であります。事務局では現在のところ、令和9年度のできるだけ早い時期に、新施設の稼働が行えるよう、事業を進めていますので、本日、開設時期等も踏まえまして、ご意見をいただければと思います。

#### 深井教育次長

先ほどの教育委員会で協議をして承認をいただいた内容であります。切れ目なく事務を遂行させていただき、可能な限り早い段階で実施設計へ移行していきます。9月定例会で予算を認めていただき、スケジュール感を持って進めさせていただきます。基本設計業務は、今年2月末に業者との契約が済み、内部検討等や施設の在り方について議論してきています。この基本設計内容はまだ決定ではありませんが、概ね取りまとまってきたということでもあります。

#### 花岡市長

今進めている作業の大きなものは、実際に使う人の意見を集約してもらっています。ただそうは言っても、現実には作っている人たちは、ガス釜がいるという声もあります。時代の流れの中では、可能であれば電気化できるものがあれば電気化をして太陽光発電によるエネルギーに切り換えたいというところがありますから、その辺は調整が必要になってくるかと思えます。その辺は丁寧にやっていきます。一方で、後戻りする議論に関してはやっていないですから、そういった内容については説明会でご説明させていただいています。今は保育園の保護者への説明ということに進めてくれております。一定程度必要な時間もあるかもしれないけれども、一步一步前に進めて



いるということに関してはやらせていただき、予算があるものに関して、あまり遅らせることなく、例えば、用地交渉のための予算だとか、基本設計をやるための予算がついていながら、若干延ばさせていただいて説明会に時間を割いたっていう経緯がありますけども、ほぼこの方向で進めていってよいかと思えます。

ほぼこの方向で固まってきているので、今度は実施設計において、耐震性の問題や基礎はどうなっているのか等、建築許可の申請には詳細設計が必要となります。県が住民説明会を実施しますがそのためには、建築確認がとれる図面が必要だということであるため前に進めさせていただくということでご了解いただければと考えています。

#### 小林職務代理

教育委員会でも、検討委員会での検討経過等をお伺いしており、給食センター化の方針については決定をさせていただいています。いろいろなご意見はあると思いますが、子どもたちに安全な給食を提供するためにも給食センター化は必要なことですので、今後も丁寧な説明を行うことは必要ですが、次の段階に進んで良いのではないかと考えています。

#### 深井教育次長

本日の総合教育会議は、現在の計画内容のコンセプトや経過などをご確認いただくとともに、今後のスケジュールを市長と教育委員会が目線合わせをすることができたというような理解をいただければと思います。私共事務局側は粛々とやっていきますし、場所の設定等については前回の定例教育委員会でしっかりと決定させていただいていますので、しかるべき対応や説明を取りながら、しっかり手だてを講じながら、またありとあらゆる場面でご説明の機会を持ってまいりたいと考えています。

以上で令和6年度第2回東御市総合教育会議を閉会とさせていただきます。